



## 合唱祭の講評（筒井先生と小島先生から）

10周年まで あと 137日（練習回数は あと 17回）

11月11日：（リリア音楽ホールにて演奏）

筒井先生：今回はフォーレを暗譜、その他を見て演奏しましたが、やはりその差は大きく、暗譜していたフォーレはお客様からも一番良かったとお声がけをいただきました。見ないことが全て！とは申しませんが、暗譜したとしても、楽譜を持っていると見てしまうのですよね・・・外して歌うメリットは声がしっかり前に聞こえる、歌い出しや切りのタイミングが揃う、みんなの歌っている表情も音楽の一部になる、などなどたくさんあります。

なので、10周年記念演奏会は暗譜を徹底します。みんなで素敵な音楽を作っていきましょう。

音楽的には、やはりタイミングが揃わないということがいえると思います。ここも徹底して参りましょう。

引き続きよろしく願い致します。



小島先生：今回もよくまとまっていたと思います。ただ津留崎先生が録音してくださったのをきいたのですが、どの曲も出だしのテンションが低いなと感じました。曲の途中からエンジンがかかって声も明るくなってくるのですが、筒井先生も常日頃からおっしゃるように曲の出だしはとても重要です。演奏会の時は是非、曲間と前奏の間に次の曲へのテンションを各々作ってから歌い出して下さい。歌い出してから「あーそうだった、そういう曲だったな」というのが見えないようにお願いします。

こういうアドバイスができるようになったのも、曲が仕上がってきた証拠ですね！

皆さん、自信を持って一回一回の練習を大事に歌いましょう。筒井先生に同じ注意を何度も言わせないように頑張ってください！！よろしくお願いします。

感想： ・ 出来ていないところも有り。でも私としては満足です！今回出来た所も忘れないようにしたい。

また前進。舞台の緊張感は特別なんですね！

次の演奏会に向けて頑張りますね！（H・S）



・ 暗譜は大変だけれど、歌っていて歌詞に気持ちが乗る感じがしました。先生がおっしゃるように楽譜を外す勇氣が必要なのかもしれないと思いました。10周年まであと少し。みんなで頑張りたいです。（A・K）

お知らせ： 11月22日は 中央ふれあい館 講座室1でやります。「旅」と「落葉松」の用意。

ぜひ 見学にいらして下さい。